

令和4年度

事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
01	02	01	06	124270	花巻・遠野広域連携事業費		
総合計画	分野	05	行政経営	政策	01 効率的・効果的な行政運営		
	施策	02	機能的な組織運営と人材育成				
目的	花巻・遠野の強みを生かした効果的な情報発信や広域観光の推進等により交流人口の拡大を図る。						
対象	花巻市・遠野市						
意図	2市の強みを生かして効率的・効果的に事業を実施している						
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○観光施設周辺環境整備事業 6,044千円 ○両市の観光施設周辺の支障木の処理と資源化の推進 ○児童・生徒パラスポーツ体験交流事業 606千円 ○両市の児童を対象とした専門指導による視覚障がい体験やパラスポーツ教室を実施 ○オンライン移住等プロモーションイベント開催事業 1,500千円 ○首都圏の移住希望者を対象とした両市合同によるインターネットラジオを活用した情報発信のほか移住ツアーを開催 ○花巻・遠野誘客促進事業 3,298千円 ○両市をつなぐ特別列車をキーとしたPR動画を作成し、プロモーションに活用 						
市民参画の有無	対象外						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託	
活動指標			単位	区分	R03	R04	R05
1	動画作成本数	件	計画			3.00	
			実績			3.00	
2	支障木処理量	m3	計画	150.00	150.00		
			実績	485.76	133.87		
3	プロモーションイベント開催件数	件	計画	6.00	6.00		
			実績	0.00	2.00		
成果指標			単位	区分	R03	R04	R05
1	広域観光客（花巻・遠野・平泉）入込数（暦年）	万人	目標	587.20	486.10		
			実績	294.00	423.30		
2			目標				
			実績				
3			目標				
			実績				
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
遠野市との広域連携により、交流人口の拡大を図ることを一つの目標として、成果指標に広域観光客入込数を設定したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が依然と続いた中で、令和3年度に引き続き目標には達成しなかった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	遠野市との連携を模索する事業のため行政主導で行う必要がある。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	<input type="radio"/> 向上余地がある	遠野市と様々な事業について連携を推進することで、相乗効果を得ることができる。
	見直し余地がない	
	<input type="radio"/> 向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	遠野市と連携して各事業に取り組むことで、効率的に実施することが可能となる。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	<input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
	受益と負担の適正化余地	両市で応分の負担割合となっている。
	受益機会の見直し余地がある	
総合評価	<input type="radio"/> 適正である	
	今年度の振り返り	遠野市と連携し、ゼロ予算事業も含めて5つの事業を効率的・効果的に実施することによる相乗効果で広域観光客入込数の増加を目標としてきた。新型コロナウイルス感染症の感染状況が推移する中で、令和3年度は2事業が中止せざるを得なかったが、令和4年度は全ての事業を実施することができたが、目標達成には至らなかった。
	次年度に向けて	令和4年度で地域経営推進費の市町村事業の第2期の広域連携枠が最終年度となった。新型コロナウイルス感染症の感染状況が一定程度で推移し、感染症法上の分類も5類へ移行した中で、今後も遠野市と連携し、効果的・効率的な事業を企画立案を行う必要がある。

令和4年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名			
01	02	01	06	124280	総合企画アドバイザー活用・連携事業費			
総合計画	分野	05	行政経営	政策	01 効率的・効果的な行政運営			
	施策	02	機能的な組織運営と人材育成					
目的	庁内外の課題解決や活性化のため、人的ネットワークやフットワークを有するアドバイザーと連携した取組を行う。							
対象	庁内、市内企業など							
意図	課題解決や活性化が図られる							
事業概要	○総合企画アドバイザー業務 363千円 総合企画アドバイザーによる助言や指導、情報提供、花巻産食材の販路拡大に係る協議・現地調査、企業誘致に向けた企業訪問やマッチング支援等							
市民参画の有無	対象外							
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標			単位	区分	R03	R04	R05	
1	総合企画アドバイザーの来市			回	計画	6.00	6.00	
					実績	1.00	1.00	
2					計画			
					実績			
3					計画			
					実績			
成果指標			単位	区分	R03	R04	R05	
1	課題解決の件数			件	目標	2.00	2.00	
					実績	0.00	2.00	
2					目標			
					実績			
3					目標			
					実績			
成果指標の達成度	目標値より高い			○	概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
<p>コロナ禍の影響やアドバイザーの本務の兼ね合いにより1回のみ来市となったものの、すでにアドバイザーと課題解決に取り組む関係機関や市内企業などとの意見交換やアドバイスを通じ、市の課題解決や活性化につながるよう取り組んでいただいたほか、アリオ川口で開催した「岩手県花巻市フェア」に従事いただき、花巻市産商品のPR・販路拡大にも取り組んでいただいた。</p> <p>また、本務である豊橋商工信用組合創立70周年記念式典における記念品に市内企業の商品を選定いただき、花巻市産商品のPRにつなげていただいた。</p>		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市政の課題解決や活性化の一助として、外部の視点を取り入れることを企図しているが、その具現化に向けて、市が主体的且つ協働して取り組む必要がある。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	庁舎内や市内企業、団体への認知度の向上が不可欠である。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	必要最小限の経費での実施であるため、削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	○ どちらも削減余地がない	取り組み内容が限定されていないことから、受益機会は均等である。
	受益と負担の適正化余地	
	受益機会の見直し余地がある	
総合評価	費用負担の見直し余地がある	特に昨年度の前半については、コロナ禍により事業展開に制約が生じたことに加え、アドバイザーの本務が多忙を極め、来市にかかる日程が整わないことが影響し、当初の目標を達成出来なかった。
	○ 適正である	
	今年度の振り返り	
総合評価	次年度に向けて	2件の課題解決を達成目標に設定し、花巻市産食材のPRと販促を行っていただくとともに、主に東海圏の企業情報を随時提供いただき、本市への企業誘致につなげる。また、当該アドバイザーの本務との調整を経た上で、市内外の課題解決に向けた活動を推進する。